

～常任委員会の審議より～

総務文教厚生委員会

「平泉寺荘」について

老人保養ホーム「平泉寺荘」の存続に関しては、平泉寺町区長会長他2団体の代表者から請願書と、市高齢者連合団体の代表11名の方から陳情書が提出されており、かねてから継続して審査をしていましたが、願意を了とし採択することに決しました。

今後市議会として、関係諸団体との意見交換会を行い、市民アンケートの結果を踏まえ、どのような形で残して行く事が出来るのか、「平泉寺荘」の存続に関する方向性を示す事にしていきます。

各地区の特色ある地域づくり事業

この事業は、各地区が主体となつて、それぞれ独自の事業を展開し特色ある地域づくりをしていただくものです。そのため、県から交付された発電所交付金の2分の1の9,050万円の基金を原資として、この事業に活用していただくために各地区に配分をします。配分金額は、均等割、人口割により決定し、事業計画は32年までです。また、配分方法は地域が立てたまちづくり計画にそつた事業に対して、補助金として交付されます。

今後、事業について市が各地区区長会等に対して説明会を行つていきます。

二次医療圏について

二次医療圏とは、入院ベッド数が地域ごとにとだけ必要かを考慮して、決められる医療の地域圏のことです。国の医療計画の見直しによると人口規模20万人未満で、入院患者の流入・流出割合で二次医療圏の設定の見直しを検討するとし、福井県では奥越と丹南の二箇所が対象になり、24年度中に策定される第6次福井県保健医療計画で決定されます。

奥越二次医療圏が福井坂井二次医療圏に吸収統合されると奥越地域での入院ベッド数の確保が困難になり、中核的な病院となっている福井社会保険病院の医師不足を助長することが予想されます。

今後、二次医療圏を守るために勝山市地域医療推進協議会の開催や、シンポジウムの開催、県に対して要望を行つていくとの説明があり、また、



建設産業委員会

今定例会の審議結果

今定例会では補正予算3件を含む議案4件と、陳情3件について担当課より詳細な説明と意見を受け、慎重に審査しました。

「農業・食料の安全対策と農業の発展に向けた陳情書」は願意を了とし採択し、議会として関係省庁等に意見書を提出しました。

大蓮寺川からの消雪用共同取水施設について

福井県では、平成20年度から24年度にかけて北から郡町一丁目までの勝山丸岡線の消雪工事を進めております。この消雪用の水源の一部を、中央公園横の大蓮寺川より取水する予定であり、また同時に元町一丁目周辺の市道消雪の水源も併せてこの施設取水する予定であるとのこと、担当課より詳細な説明があり

ました。

今回の事業により、中央公園内に取水施設、貯水施設、電気設備棟、ポンプ施設等が建設されることから、委員会からは今後の中央公園の改修計画も含めた計画を策定するよう求めました。

都市公園安全安心緊急総合支援事業について

市では平成23年度より国の都市公園安全安心緊急総合支援事業を活用し、公園のリニューアルを進めており、委員会では現状の説明と今後の計画について説明がありました。

委員会では、市民の皆様との議論を更に深め、公園の長寿命化計画を立て再整備を進めていくよう求めました。